

夏の節電のすすめ

今年も暑い夏がやってきました。夏はエアコンや冷蔵庫などの消費電力が増える季節です。ご家庭の電気料金の節約や地球温暖化防止のため、この機会に今一度ご家庭の電気の使い方を見直してみませんか。

夏の日中の消費電力の76%はエアコンと冷蔵庫

夏の日中(14時頃)には、在宅世帯は1,200Wの電力を消費しており、そのうちエアコンが約半分を占めています。日中のエアコンの使い方が、夏の節電のポイントとなります(グラフ①)。

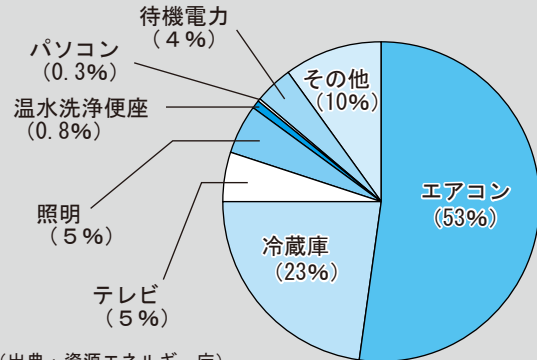
※エアコンは体調に合わせて使用し、熱中症などには十分に気を付けて下さい。

◎室温は28℃を目安に設定しましょう。

◎ゴーヤ・朝顔などのグリーンカーテンや、すだれ・よしずを活用しましょう。

◎上手に扇風機を使用しましょう。

▶グラフ① 夏の日中(14時頃)の消費電力(全世帯平均)



(出典：資源エネルギー庁)

家庭での消費電力の44%は「冷蔵庫、照明、テレビ、エアコン」

節電は、消費電力の大きいものから行うことがポイントです(グラフ②)。

◎冷蔵庫の温度設定を見直してみましょう。

◎できるだけ冷蔵庫の扉の開閉時間を短くし、食品を詰めすぎないようにしましょう。

◎人のいない部屋や廊下の照明はこまめに消灯しましょう。

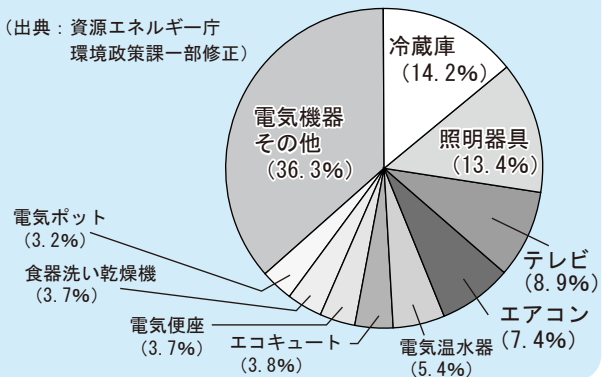
◎照明の明るさを調整しましょう。

◎テレビのつけっぱなしはやめましょう。

◎テレビを見ない時はコンセントを抜きましょう。

▶グラフ② 家庭部門世帯あたり電気使用量(2009年)

(出典：資源エネルギー庁
環境政策課一部修正)



◆問い合わせ 環境政策課(☎内線269・274)へ

外国人住民の皆さんへ 7月8日から

外国人住民の人も「住基ネット」 「住基カード」の運用が始まります

●住基ネットの運用開始に伴い、外国人住民の人の住民票に住民票コードが記載され、7月8日以降、その住民票コードがご本人に通知されます。

住民票コードは住基ネットで全国共通の本人確認を行う際に必要不可欠な、無作為の11桁の番号です。

●外国人住民の人も住基カードの交付を受けることができますようになります。

写真つき住基カードは公的な証明書としても使えます。住基カードに電子証明書を格納することで、電子証明書による本人確認を必要とする行政手続のインターネット申請ができるようになります。

※住基ネットに関する詳しい内容につきましては、総務省「住民基本台帳ネットワークシステム」のホームページを、住基カードに関する詳しい内容につきましては「住民基本台帳カード総合情報サイト」をご覧ください。

※外国人住民に関する住民基本台帳制度の電話相談窓口(外国人住基コールセンター／8時30分～17時30分／日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語対応可)を平成26年3月31日まで開設します。

☎0570-066-630(ナビダイヤル)、☎03-6301-1337(IP電話、PHSからの通話の場合)

※7月29日(月)と7月30日(火)の両日は、電子証明書の発行・失効業務ができませんのでご了承ください。

◆問い合わせ 市民課(☎内線704)へ

7月8日(月)から、外国人住民の人についても「住基ネット」の運用が開始されます。

また「住基カード」の交付を受けることができるようになります。

※「住基ネット」：住民基本台帳ネットワークシステム

※「住基カード」：住民基本台帳カード